まみてつ新

まみてつ新聞社
〒877-0202
日田市大山町

刀根実幸さん「元気が出る」イラスト

チャリティーライブ&お話

刀根実幸２０１８年チャリティーカレンダー原画展が11月、日田市の絵本と子ども服店「ちゃいるどるーむ」のスマイルスペースであった。長藤朋子・寺嶋拓哉二人展「こころみらい」と同時開催。

「風の音」をテーマに、さっそうと駆け抜ける車いすレーサー、秋風に吹かれる由布岳、復興支援で日田市上空を飛んだブルーインパルスなど、実幸さん独自の視点で描いた作品が並んだ。実幸さんの生い立ちコーナーもあり、地雷被害児の途上国の子どもたちの支援活動を始めるきっかけとなった絵本「地雷ではなく、花をください」や、いじめられた小学校時代のパネルなどを紹介。「命の大切さ」や「いろんな人がいて当たり前」という担任教師のメッセージを伝えていた。

刀根夫婦のトークライブもあり、イラスト制作の裏話やオリジナル曲を披露。来場者からは「回転寿司のねたをハサミで小さく切って食べる思い出などを聞くと、作品が違って見える」などのコメントが寄せられた。

この日は、刀根夫婦の友人がクラウドファンディングで支援する重度障害者の海外旅行挑戦の活動に協力しようと、卓上カレンダーの販売と募金をした。その男性は延命を望んでなかったが、「死ぬまでにオーロラを見たい」という本人の希望から気管切開を決断し、資金調達に奔走しているという。徹朗さんが「僕たちも旅行で悔しい思いを何度もしてきた。もし周りの少しの協力で願いがかなうなら、そういう世の中にしていきたい。協力を」と呼びかけ、２万円近くの浄財が集まった。

就労継続支援Ａ型事業所ここみらい（福岡県うきは市）で制作した様々な表情の猫のイラストなども展示。キーホルダーや髪留めなどの物販もあり、来場者の注目を集めていた。

会場に置いていた感想ノートには「きれいな色使いに感動。心の色だと思った」「イジメがあってもあきらめてなかったのがすごい」「明るさと光の美しさを感じる」「前向きな力がよく伝わり、しっかり絵に表現できていてすごい」などのメッセージが続いた。

店長の佐藤日出美さんは「これらの作品は３人の『挑戦』だと思います。だからこそ、ココロを打つものがあり、それを見た子どもたちの感想は『元気が出た！』と表現するのです。まさに、何かに向かって一生懸命やる姿は誰かを『元気』にするのかもしれません」と力を込めた。

でみちゃんコラム

11月22日は世間で言う「いい夫婦の日」だそうです。いい夫婦ってどんな夫婦？▼ワタシの身近でいえば、夫婦のポケツッコミが最高な「刀根夫婦」でしょう。会話が掛け合い漫才のよう！▼先だってもスマイルスペースで、カレンダーを制作した刀根実幸ちゃんのおはなし会&ミニライブがあったのですが、二人のかみ合わない会話が面白すぎてみんな笑い転げていました。そして、その場の空気がなんとも言えない温かい空気に包まれて、シアワセな気持ちになる。存在だけで、相手がシアワセな気持ちになる…このお二方はまさに「いい夫婦」です。▼その「いい夫婦」の合作でもあろう、２０１８年刀根実幸ちゃんのカレンダーが「いい夫婦の日」に入荷しました。▼今年で何と制作15年となったカレンダー。こちらの売り上げはカンボジアの地雷被害家族への

同じ難病同士　紡いだ「また愛に生子ね♪」

筋ジス福山型　水田愛生子さん　益城町
刀根実幸さん　日田市

筋力が年々衰える難病「先天性進行性筋ジストロフィー福山型」を患う日田市の刀根実幸さんが５月、熊本地震で被災した熊本県益城町の同じ難病の女性のもとを初めて訪れ、交流を深めた。テクノ仮設団地も訪問し、ご当地プリンに舌鼓を打った。

夫の徹朗さんと一緒に訪れたのは、実幸さんより３歳年下の水田愛生子さん。同じ難病ということをきっかけにフェイスブックを通じて知り合い、SNS上で交流を続けていた。「益城はボランティアで何度も行っているし、近くだからゴールデンウィークだし会いに行こう」と車を走らせた。

復興支援商店街で待ち合わせ。両親と一緒に登場した愛生子さんらとタイピーエンやから揚げを食べながら小さいころの訓練やリハビリのこと、愛生子さんの大好きな関ジャニ∞やゆずのライブの思い出話などで盛り上がった。その後、テクノ仮説団地に愛生子さんの友達がいることから一緒に向かった。以前、実幸さんがボランティアで訪ねた際にカレンダーをプレゼントした団地内の商店街店舗もあり、ジャージー牛乳を使用したクリーミーな益城プリンを食べて楽しんだ。

実幸さんは「愛生子ちゃんと私の顔が似てるから、『ふたごかな？』って思ったよ。声も似てたし、ライブに行ったりしているところが似ているなって思いました。また会いに行きます」と話した。

このほか、「福山型」の家族とSNSで知り合い、「障害者あるある」で盛り上がったり、勇気づけられたり励まし合ったりし、互いに思い描く明るい未来に向けて一歩ずつ歩み続けているという。「２０１８年はフェイスブックだけじゃなくて、実際に会えるといいな」と実幸さん。

友人ランナーの林泉さん（右）と一緒にゴールを目指す刀根夫婦＝日田市豆田町

ひなまつり健康マラソン　5.5キロ完走
「沿道からの声援　うれしかった」

日田市に春の訪れを告げる「第18回天領日田ひなまつり健康マラソン大会」が３月、市陸上競技場を発着する各コースであり、刀根夫婦が出場。5.5キロの道のりを完走した。

刀根夫婦は２０１４年の同大会にも出場し、２キロコースを完走した。「ワンアップしよう」と距離を伸ばし、日田下駄やスーパーマンなどの仮装ランナーを含めた小学４年から83歳までの１２５１人とともにゴールを目指した。

友人の林泉さんが福岡市から参加し、伝統的な建造物群の残る豆田町などを一緒に快走。沿道のボランティアや観客、折り返しをしてすれ違うランナーからの「頑張って」「あと少しだよ」という声援に後押しされ、見事にゴールテープを切った。

刀根夫婦の記録はともに1時間20秒。実幸さんは「マラソンに出られてうれしかった」と笑顔を見せた。

書道家シンガー・友近さん

難病女性の思い歌に

作詞した本人と初披露

日田の障害者支援施設

書道家シンガーの友近890（やっくん）さん（38）＝東京＝が日田市の障害者支援施設「ひばり～ヒルズ」で2年ぶりにライブをした。前回のライブで出会った施設利用者の難病女性が作詞した曲を初披露。2人で歌い上げると会場は温かい雰囲気に包まれた。

友近さんは東日本大震災の被災地訪問をきっかけに、2011年から全国の福祉施設などで「笑顔を届けるライブ」を始めた。全都道府県を毎年巡り、訪問施設数は1100を超える。

15年に日田市を訪れた際、同施設利用者で、イラストや詩を作成している刀根実幸さん（30）＝同市大山町＝と出会った。その後も交流を重ね、オリジナル曲「今を生きる」が完成した。

刀根さんは車いす利用者で、私生活全てに介助が必要。「誰かの手助けがいるけど、人の役に立ちたい優しくしたいな　私の小さな夢は　人の役に立つこと」という歌詞を優しいメロディーで歌い上げた。

ライブには利用者や職員ら約40人が集まった。友近さんは「この思いは刀根さんだけでなく、皆さんの気持ち。思いが届くように全国でも歌ってきます」と話した。「楽しくしたいな　優しくしたいな　私の小さな夢は　人の役に立つこと」という歌詞を優しいメロディーで歌い上げた。

書道をしながら歌うパフォーマンスもあった。「こころ」に文字を重ねて「響」という字を書き上げ、「心の声が響き渡るように」と紹介すると会場から拍手が湧いた。

「今を生きる」を含むCDアルバム「I Love You」（3千円・税別）は12月25日から全国発売。問い合わせは友近さん（☎070・5349・0890）へ。

刀根実幸さん（中央）作詞の曲「今を生きる」を歌う友近890さん（右）＝日田市三和の障害者支援施設「ひばり～ヒルズ」

「今を生きる」作詞　刀根実幸

一度も自分の足で歩いたことがない私/助けがないと生きていけないそんな私/だけど みんなの力をかりて/あたりまえの生活ができる/私も人の役に立てるかな？/今を生きよう/笑顔にしたいな/明るくしたいな/そんな気持ちが伝わったかな？/楽しくしたいな/優しくしたいな/私の小さな夢は/人の役に立つこと

（上記、大分合同新聞より抜粋）

刀根夫婦　2017年ダイジェスト

【1月】美容院で新垣結衣カット

【2月】JR天ケ瀬駅でミニライブ/甥っ子家族とゆめタウンで買い物/電動車いすをティルトタイプに更新/妻高熱で介護タクシーで岩里病院に搬送、点滴/認定NPO法人ニコちゃんの会の障害者演劇鑑賞

【3月】妊娠確認で聖マリア病院受診/久留米大学病院産科受診

【5月】甥っ子家族と福岡空港見学/須永博士美術館へ/海響館/日田川開き観光祭で比花知春さんライブ

【6月】マリンワールド海の中道/小池アミーゴさん個展で熊本県津奈木町へ/朝倉市秋月へ葛餅買い求め/昭和学園高校の看護師の卵たちに講演/暑気払いで屋形船に乗船

【7月】九州北部豪雨で現地リポート/ボランティアチーム大分に差し入れ/相模原事件を考えるシンポジウム（大分市）に参加/JR大分駅で買い物

【8月】フラフェスティバルinひたに参加/三重県帰省（大阪,USJ,京都,金閣寺,伊勢,鳥羽,伊勢エビ,神戸）

【9月】スポーツオブハートin大分で妻モデルデビュー/ひちくボランティアセンターで妻事務作業/天草旅行で香織ちゃんと再会/妊娠確認

【10月】豪雨で奇跡的に無事だった谷のくまちゃん家で釜揚げうどん/日田いち/カレンダー制作追込み/熊本保健科学大学で作業療法士の卵たちに講演

【11月】ちゃいるどるーむで個展&ミニライブ/ホンダフリード福祉車両試乗/バリアフリーボーリング/はぎの園でアート体験/オレンジカフェ忘年会

【12月】三芳、高瀬、咸宜の各小学校で講演/人権擁護委員協議会からイラスト制作依頼/デジパ初体験で大人パーマ/日田支援学校の後輩たちにカレンダープレゼント

※ダイジェストの思い出写真は「刀根実幸」のフェイスブックで公開中です。

刀根実幸さんの絵画 まちかど美術館人気

JR 天ケ瀬駅

シンガーソングライターの刀根実幸さんによる「笑顔のたねまきライブ in あまがせ」が2月、日田市天瀬町のJR天ヶ瀬駅の待合室、天の国プラザであった。イラストレーターでもある刀根さんの個展との同時開催で、近くの飲食店3店舗にも絵を飾る「まちかど美術館」として多くの観光客らに笑顔を届けた。

実幸さんは夫の徹朗さんと登場。夫のギターに合わせて「カントリーロード」「野に咲く花のように」「赤いスイートピー」などのおなじみの曲やオリジナル曲「光になりたい」などを披露した。トークライブでは生い立ちも紹介した。

実幸さんは毎年、パソコンで描いたイラストをカレンダーにして販売。益金を海外の紛争地域の子どもたちへの教育支援や障害者福祉などに充てるチャリティー活動を続けている。取り組みに賛同した同町の軽食&雑貨「あまがえる」、喫茶「Azuki」、ふれあい食堂「天の川」で2017年のカレンダー「たねまき」のイラストを展示していた。

あまがえる店長の斉藤久美子さんの長男でボイスパーカッショニストとしてニューヨークで活躍するカズさんが帰国することから、実幸さんとのコラボレーションが実現。オリジナル曲「そら」の優しいメロディーに軽快な「ロドラム」のリズムが重なり、会場は大きな拍手に包まれた。

実幸さんは「ドラムがかっこよくて、とてもよかった」と大喜び。

当日のライブの模様は刀根実幸のフェイスブックの「動画」で公開中。下記のアドレスをチェック！

facebook.com/mami.

「そら」　作詞　刀根実幸（旧姓河津）

風を感じて　今日も外へ出かけよう
あなたがいるから　外へ出かけよう
一人きりだと　少し心細いけど
空が私に　メッセージくれる
今日はハート　私にラブコール
だけど私　まだそこへは行けないよ
だって私　たくさんすること　あるからね
空を見よう　空を見よう
あなたと話せる　空だから
空を見よう　空を見よう
今日もがんばるから

雨を感じて　今日も外へ出かけよう
あなたがいるから　外へ出かけよう
空のあなたが　涙こぼしているなら
今日は私が　メッセージあげる
空に届け　私のラブソング
あなたが今　泣いているなら
あなたのため　優しく一緒に歌うからね
空を見よう　空を見よう
あなたと歌える　空だから
空を見よう　空を見よう
今日もがんばるから

花魁衣装 実幸さん 堂々と光のランウェイ駆け JR大分駅前ファッションショー

障害者モデルら14人登 スポーツ オブ ハート in 大

ユニバーサルスポーツの普及啓発をきっかけに、障害者も健常者もともに暮らしやすい社会をつくることを目指す「スポーツオブハート in 大分」が9月、大分市のJR大分駅周辺の特設会場であった。障害者とプロのモデルが一緒にランウェイを歩くファッションショーがあり、日田市の刀根実幸さんが花魁衣装で登場。多くの観客の前を電動車いすで自信たっぷりに駆け抜けた。

㊨土屋アンナさん（左）の生歌を背にランウェイを進む実幸さん（右）。㊦ヘアメイクは明日香美容文化専門大学校の学生が全面的にバックアップ。

午前中リハーサルがあり、モデルがそれぞれの衣装と「ご対面」。総勢14人が出演するファッションショーの衣装を担当したのは「年齢、国籍、性別、障がいの有無を問わず、全ての人が笑顔になれる服」をコンセプトにしたブランド「tenbo」のデザイナー鶴田能史さん。実幸さんの到着後、すぐに電動車いすのテーブルを赤色の布で覆ってデコレーションを施した。

これまでにも車いすモデルの衣装を手掛けたことのある鶴田さん。「テーブルは体を支えるために必要なものだけど、ファッション的にはダサいことも。それをちょっとの工夫でおしゃれにしたい」と、赤色が基調の着物に合うようにした。

土屋アンナさんの生歌をBGMにリハーサルを終えると、プロのモデルの涼しそうな表情とは真逆で、一般の障害者モデルは緊張で疲れ気味。本番前の舞台裏では、そんな彼女たちを心配してかプロのモデルが「せっかく有名な人たちと一緒に出られる機会だから、笑顔で楽しみましょう」などと何度も話しかけていた。

また、土屋アンナさんやIvan（アイヴァン）さんがリハーサル中も積極的に障害者モデルとコミュニケーションを取り、一緒に舞台を成功させようとする姿勢に、少しずつ緊張感がほぐれていった。実幸さんは鶴田さんから「花魁の力強い衣装とこのメークがとても合ってる」とほめられて笑顔を見せていた。本番ではすべてのモデルが堂々と光の中心を歩いていた。

夫の徹朗さんは「当然、ランウェイに介助者はおらず、一人で行って舞台裏に帰ってくるので、舞台から落ちたりせずに戻ってこられるだろうかと不安だった。でも生き生きとした顔を見たら『多少ケガしてもいいから、思いっきり楽しんできてほしい』と思えるようになり、ランウェイに飛び出る妻を見送ることができました」と振り返った。

▼催し

【北九州市】渡辺知子一座コンサート…5月28日、戸畑区のウェルとばた大ホールであった。

サリドマイド薬害で手が不自由だったり、くも膜下出血で大病を患った障害者、ダウン症患者らがステージで太鼓や歌を披露した。テーマは「命が光る～決して決してあきらめない」。地震に見舞われた熊本・南阿蘇復興支援のチャリティーコンサート。

ポスターとチケットのイラストには大分県日田市のイラストレーター刀根実幸さんの作品が使われた。座長の渡辺さんは「まみちゃんの何事にも負けない気持ちがこれからもコラボレーションしていきたい」と

講演で伝える流産・妊娠体験
感じてほしい一命の大切

刀根実幸さん　おめでた
出産予定は今年5月末

イラストレーターの刀根実幸さん（30）＝日田市大山町＝が妊娠していることが1月中旬までに分かった。妊娠6か月目に入っており、出産予定日は今年5月末ごろとみられる。筋ジストロフィー福山型を患う実幸さんは、かねてから出産の夢を周囲に語っていた。中学生のころから思い描いていた地雷被害児への支援や結婚といった「人生の目的」を着実に達成している実幸さん。また一つ大きなステップアップをすることになりそうだ。

実幸さんは、まみてつ新聞の取材に「赤ちゃんがちゃんと育ってくれてるのか心配なこともあるけど、絶対に大丈夫だって思って過ごしてます。早く会いたいな」と明かした。また、「去年の5月に8週目で流産したのは残念だったけど、この体験と一緒に命の大切さをいろんな人に伝えたい」と前を向いた。

実幸さんが通院する久留米大学病院産科によると、「福山型患者の日本での出産報告はないが、刀根さんはこれまで順調に育っている。母体の心肺機能と胎児の発育状況のバランスを見ながら、手探りでお産を迎えていきたい」としている。

刀根夫婦がライフワークの一つとして取り組む講演活動で、妊娠の事を紹介しているという。2017年6月、昭和学園高校看護学科の学生に講演した際も流産した経験を伝え、「みんな一人一人、愛されて生まれてきた。少しだけ親の立場になって初めて分かった」と紹介した。学生からは「お二人の間に授かった赤ちゃんは必ず次に授かる赤ちゃんの力になってくれると思う」「私の母が初めて妊娠した時、すごくうれしかったけど車の事故で流産してしまった。私は母に産んでくれたことに感謝し、母が私にたくさんの愛をくれたくらいに母に幸せをあげようと考えられる講義でした」などの感想が寄せられた。

2度目の妊娠発覚後の同年10月、熊本保健科学大学で作業療法士を目指す学生にもお腹の中に赤ちゃんがいることを講義で伝えた。学生が補助具を作るカリキュラムがあり、実幸さんがお題を出すことが恒例となっており、今回は「抱っこひも」をリクエスト。学生たちは「赤ちゃんにとって母親に抱かれる肌感覚は大切」「でも実幸さんの体に負荷がかかりすぎると困る」など、体の障害と利用者の希望を両立できるよう、一生懸命、聞き取り作業をしていた。

2018年の春には家族が増えることになる刀根家。実幸さんは「温かい家族になるので、温かく見守ってほしいです」とほほ笑んでいる。

㊤妊婦の友人明美さん（右）と刀根夫婦。㊨昭和学園高の学生と記念写真。